

副専攻プログラム



《 副専攻制度 》とは？

- ◆ 自分の学部・学科の専門分野(主専攻)以外に、副専攻プログラム(テーマ別他学部受講科目)の学習成果を認証する制度です。
- ◆ 一定の条件をクリアした学生に対して、大学で特定分野を学んだことの証明として公的な認定である「副専攻修了証書」を授与します。

こんな人にオススメ！

専門分野をもう一つプラス



- ・ 経済学の理論に実践的能力を加えたい人
- ・ ビジネス知識を観光分野にまで広げたい人
- ・ スポーツ関係の知識を国外にも向けたい人
- ・ 観光学の知識をスポーツ産業と繋げたい人
- ・ 心理学を極めビジネスに活用したい人
- ・ 外国語能力を実践ビジネスに活かしたい人
- ・ AIの仕組みを自分の専門分野に取り込みたい人

副専攻を修得するメリットは？

幅広い知識を得られる

- ◆ 他学部の関心ある分野を体系的に学ぶことができ、修了認定も受ける事ができます。
- ◆ 自分の専門分野をより広い視野をもって見つめることができます

自分の学部の学習を

補うことができる

- ◆ 他学部の視野から自分の学部を見ることで、より深い学習ができます

就職活動に活用

することができる

- ◆ 自学部の学びだけでなく、副専攻プログラムで幅広い知識を学んだことをアピールできます。
- ◆ 希望者には就職活動時に「副専攻修得見込証明書」を発行できます

どんなプログラムがあるの？

7つのプログラムを開設しています

プログラム	受講できるプログラム				
	経済	流通	経営情報	国際コミ	国際観光
実践ビジネス	●		●	●	●
スポーツ	●		●	●	●
経営	●	●		●	●
AI データサイエンス	●	●		●	●
グローバル	●	●	●		●
メディア心理	●	●	●		●
観光	●	●	●	●	

副専攻プログラム

各プログラムの紹介 ※対象科目一覧は履修要綱 L2~を参照

各プログラムは、それぞれ大きく2~4つのテーマに分類されます。
※同じテーマの科目を集中的に選んでいく方が、副専攻の効果は上がります。ただし「メディア・心理」プログラムの「心理学」だけでは16単位を満たさないため、「メディア」もあわせて16単位修得を目指しましょう。



手続き方法

- ・ 7つのプログラムから自分の学部に関われているプログラムを選択します。
(副専攻修了証書授与には、1プログラム16単位以上必要)
- ・ 2つ以上の副専攻プログラムを修得する事も可能。
この場合、卒業所要単位を越えることをご承知おきください。
- ・ 選択にあたっては、毎年4月の履修登録時に希望するプログラムを
阪南 UNIPA から希望資格登録します。1~3年生まではこの申請は任意です。
- ・ 副専攻の修得見込みがあれば「副専攻修得見込証明書」の発行ができます。
- ・ 卒業生(4年)の前期履修登録時が最終申請となります。
この最終申請がなければ「修了証書」は授与できません。
- ・ 修了証書は卒業式当日に授与します。